

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0143400000	開発指導課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	04	都市計画費
目	01	都市計画総務費	事業 1	071	01070401
事業 2	040	開発行為等事務費	事業 3	001	開発行為等事務費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 発展と秩序ある整備を図り、公共の福祉の増進に寄与する。
- ・内容 よりよい環境創出のための手続を経て、みどり豊かな暮らしよい都市の実現を図る。
- ・SDGs 11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効果 法令等に基づく指導を行う事により、より良いまちづくりを推進する。
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市まちづくり条例及び都市計画法等
- ・計画 該当なし

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費 (進捗率) : 1,852千円 (-)
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 2,168千円 (-)
- ・令和8年度予算 事業費 (進捗率) : 2,627千円 (-)
- ・令和9年度以降 事業費 (進捗率) : 千円 (-)

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 年間を通じて秦野市まちづくり条例及び都市計画法等に基づき、適切な指導、対応及び適正な事務手続の執行を図った。
- ・令和7年度 年間を通じて秦野市まちづくり条例及び都市計画法等に基づき、適切な指導、対応及び適正な事務手続の執行を図った。

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

開発行為等の相談、指導内容、方針等について、担当者が電話口、窓口で早急な判断、回答を求められることがある。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

早急な判断・回答を求められる重要事項について、課内での打ち合わせを行い、必要に応じて他市や県にも照会の上で適切かつ遅滞なく回答するよう努める。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0143400000	開発指導課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	04	都市計画費
目	01	都市計画総務費	事業 1	071	01070401
事業 2	040	開発行為等事務費	事業 3	001	開発行為等事務費

- (1) 増減理由
 報酬単価の引上げによる会計年度任用職員報酬の増額（85千円）
 会計年度任用職員の募集による通勤費の計上（52千円）
 ファン付空調服の計上（人事課通知に基づく）及びカラープリンタートナー購入費計上による消耗品費の増額（381千円）
 （カラープリンタートナーについて、従前はデジタル推進課で予算要求）
 3年に1度の間隔で行っている開発登録簿の電子化が完了したことによる委託料の減額。（△59千円）
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
 令和6年度デジタル推進課からのトナー配布数
 計17個（内訳：ブラック3、シアン5、マゼンタ3、イエロー6）※令和7年1月から建築指導課と共用
 令和6年度使用実績は開発指導課12か月分、建築指導課3か月分の計15か月分
 令和8年度は計24か月分として使用量を見込んで計上
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
 今後も、より良いまちづくりのため、まちづくり条例等に基づき適切な指導を行う。
 また、現在紙媒体で保存している書類の電子化を推進する。
- 8 その他
- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
 ・ 予算計上額（うち一般財源） 500千円（0千円）
 ・ 内 容 環境創出行為等完了台帳電子化委託業務
- (2) 自然災害対策への取組
 ・ 予算計上額（うち一般財源） 26千円（0千円）
 ・ 内 容 自然災害現場調査等対応消耗品
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
 該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0143400000	開発指導課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	04	都市計画費
目	01	都市計画総務費	事業 1	071	01070401
事業 2	090	景観まちづくり推進事業費	事業 3	001	景観まちづくり推進事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 愛着と誇りを持てる「ふるさと秦野」の創造を目的とする。
- ・内容 市民・事業者・行政の協働による景観まちづくりの推進を図る。
- ・SDGs 11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効果 自然や緑と調和した快適で安全な住環境の創出、自然の恵みと歴史や伝統に培われた良好な景観や街並みの保全・活用
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 景観法、秦野市景観まちづくり条例
- ・計画 ふるさと秦野生活美観計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費 (進捗率) : 172千円 (-)
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 131千円 (-)
- ・令和8年度予算 事業費 (進捗率) : 88千円 (-)
- ・令和9年度以降 事業費 (進捗率) : 千円 (-)

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度 本市のより良い景観を次世代に引き継ぐため、景観まちづくりの普及・啓発
- ・令和7年度 本市のより良い景観を次世代に引き継ぐため、景観まちづくりの普及・啓発

4 事業の自己評価 (目標値に対する効果の検証・課題・問題点等) [C]

今後も景観まちづくりに対する情勢の変化等により、必要に応じて制度や基準の見直しを行う。

5 令和8年度の実施内容 (課題解決への実施等) [A]

一定規模以上の建築行為等について、景観まちづくり条例に基づく生活美観創出協議を実施すると共に、景観法に規定された届出等を義務付けることで良好な景観形成に向けた誘導を図る。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0143400000	開発指導課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	04	都市計画費
目	01	都市計画総務費	事業 1	071	01070401
事業 2	090	景観まちづくり推進事業費	事業 3	001	景観まちづくり推進事業費

原材料費の増額（3千円）に伴い消耗品費を見直したことによる減（△4千円）
 景観アドバイザーへの相談方法等の見直しによる報酬費の減（△42千円）

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
 該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
 ふるさと秦野生活美観計画に定める基準に基づき、市民・事業者・行政の協働による景観まちづくりの推進を図る。

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
 該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
 該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
 該当なし